

報告

令和元年度 北海道医師会・ 北海道保健福祉部・道立病院局 懇談会

常任理事・医療政策部長 荒木 啓伸

8月27日（火）本会と北海道保健福祉部ならびに道立病院局と懇談会を開催した。

まず、長瀬会長、橋本保健福祉部長、田中道立病院部長よりそれぞれ挨拶があった。

橋本保健福祉部長は挨拶の中で、当会の日頃の協力に対する謝意の後、本年度は北海道創生総合戦略

に掲げる重点プロジェクトを中心に、少子化対策や経済活性化に係るさまざまな基盤づくりを進め、現行戦略による取組をしっかりと検証し、新たなステージを見据えた次期戦略の策定に向けた検討を進めていく必要があることなどについて説明があった。全国を上回るペースで高齢化が進んでいる本道においては、道民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、道と医師会とが今まで以上に協力していく必要があると述べた。

また、田中道立病院部長から、昨年4月に北見赤十字病院による指定管理者制度を導入した道立北見病院で病院間の医療従事者の相互応援がこれまで以上に活発となり、制度導入の効果が表れてきたと感じているほか、残る5つの病院についても、若干ではあるが一昨年度を上回る医業収益をあげていることなどが説明された。

その後、意見交換が行われ忌憚のない質疑応答が行われ、今後とも北海道の医療の維持発展に向けて互いに協力しあうことを確認した。

令和元年度 保健福祉部の重点政策

保健医療福祉を取り巻く環境

人口減少問題

- ◆ 全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行
 - ・ 全国を下回る合計特殊出生率：1.27【46位】（全国1.42）
 - ・ 全国を上回る高齢化率：30.5%【18位】（全国27.7%）
→ R7年（推計）約34.5%

保健医療福祉分野の課題

- ◆ 少子化の流れを変える本道の地域特性を踏まえた対策を講じること
- ◆ 今後の人口減少や高齢化に対応した医療や介護サービスの提供体制を構築すること
- ◆ 地域における医療・福祉サービスを担う人材を確保すること
- ◆ 地域で支え合う体制を構築すること

地域に生じる課題への対応

令和元年度重点政策のポイント

○子どもの成長を支える環境づくりと少子化対策の推進

安心して生み育てたいという希望を叶え、子どもの成長を支える環境づくり

○暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進

地域に必要な医療の確保や健康で安心して活躍できる社会づくり

○誰もが暮らしやすい社会の構築

誰もが共に支え合い、発展できる社会の構築

○医療・福祉サービスを担う人材の確保

医療や福祉サービスに必要な人材の確保とキャリア形成の推進

+ 保健医療福祉に係る各種計画の推進

～めざす姿～「安全で安心して心豊かに住み続けることができる活力ある地域社会の形成」（北海道総合計画）

